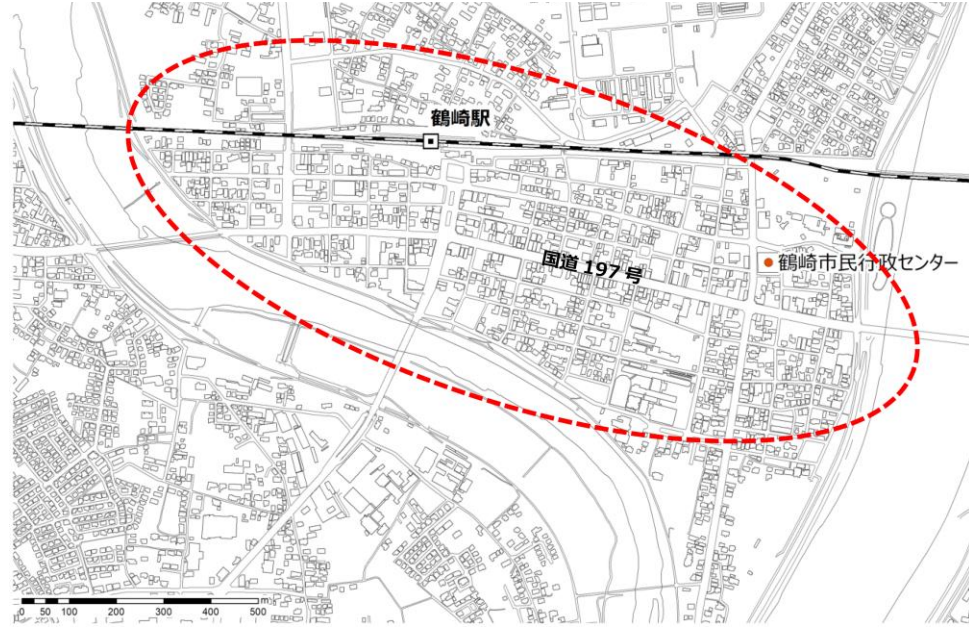


1. 基本構想の目的及び対象区域

「鶴崎駅周辺整備基本構想」は、社会状況の変化を踏まえ、本地区の拠点整備の方向性や方針等を市民、行政、まちづくりの専門家等で共有し、市民が主役となる都市づくりを官民協働で整備の推進を図っていくことを目的として策定するものです。



2. 課題

JR 鶴崎駅周辺に関する課題

- 課題①：交通結節機能の改善
- 課題②：駅周辺の環境改善

鶴崎支所周辺に関する課題

- 課題①：鶴崎支所周辺の環境改善

交通ネットワークに関する課題

- 課題①：自動車の渋滞緩和
- 課題②：自転車の利用環境の改善

歴史文化・自然環境に関する課題

- 課題①：現状のニーズにあった公園施設の更新
- 課題②：乙津川や大野川等の河川敷の有効活用
- 課題③：鶴崎地区の歴史文化資源の有効活用
- 課題④：歴史文化資源や街区公園等をつなぐ回遊環境の充実

防災まちづくりに関する課題

- 課題①：洪水・津波等の災害への対応

5. 方針実現に向けた取組

【鶴崎駅周辺全域（共通）】

- ・エリアの価値が維持向上するエリアマネジメントが必要です。
- ・防災・減災に向けた継続的な取り組みが必要です。

【鶴崎駅前広場】

- ・交通を安全かつ円滑に処理するとともに、日常の憩いやイベント等への活用を視野に入れた再整備を検討します。

【鶴崎支所周辺】

- ・鶴崎公民館、鶴崎公園の再整備により、「行政と教育・文化・福祉の拠点施設」としてのリニューアルや 修景整備を推進します。
- ・周辺施設への回遊性の向上を図ります。

【街区公園】

- ・地区内の複数の街区公園について、周辺環境や利用者特性に応じた機能の再編に取り組みます。

【市道】

- ・鶴崎コミュニティ軸として歩行者と自動車が安全で快適に往来できる道路空間の形成に取り組みます。
- ・鶴崎コミュニティ軸として、安全で居心地の良い道路空間となるよう修景・美装化を図ります。
- ・JR 日豊本線で分断されている市街地南北間の交通動線を円滑にするために、道路のアンダーパス化に向けた取組を推進します。

【県道（鶴崎停車場線、鶴崎大南線）】

- ・駅前広場との一体的な利活用に向けた連携へ取り組みます。
- ・ピーク時間における渋滞の緩和に向けた検討を行います。

【国道197号】

- ・国道197号鶴崎拡幅事業の推進をはたらきかけます。
- ・国道197号の拡幅に伴った市街地形成について、民間事業者や県と連携した手法を検討します。

【回遊ネットワーク】

- ・神社、毛利空桑記念館など地域の歴史文化資源や公園緑地をネットワークする歩行者動線の形成を 図ります。
- ・ネットワーク上の河川空間の活用を検討します。

3. 鶴崎駅周辺地区の将来像

伝統と文化を感じる多世代のための暮らしの拠点

4. 都市づくり方針

1. JR 鶴崎駅や鶴崎市民行政センターを核とした住環境の高質化

2. 円滑な交通ネットワークの形成

3. 鶴崎の伝統・文化・緑を「まもり」「つなげ」「いかす」ネットワーク形成

4. 安心・安全に暮らせる防災都市づくり

6. 各取組の実施時期のイメージ

	取組内容		取組時期		
			短期	中期	長期
鶴崎駅周辺全域(共通)	鶴崎駅周辺全域	エリアマネジメント、防災・減災に向けた取り組み	■	■	■
鶴崎駅前拠点	鶴崎駅前広場	JR 鶴崎駅前広場	■	■	
	県道鶴崎停車場線	県道鶴崎停車場線 ((都) 鶴崎駅前松岡線)	■	■	
鶴崎コミュニティ拠点	鶴崎市民行政センター周辺	鶴崎市民行政センター、鶴崎公民館、鶴崎公園	■		
鶴崎コミュニティ軸	市道北鶴崎3号線	市道北鶴崎3号線 ((都) 船頭町線)		■	
	市道中鶴崎1号線	市道中鶴崎1号線		■	
広域連携軸	国道197号	国道197号沿線	■	■	■
地域連携軸	市道鶴崎・三佐線 ((都) 寺司三佐線)	市道鶴崎三佐線 ((都) 寺司三佐線)			■
	県道鶴崎大南線 (別保橋)	県道鶴崎大南線 ((都) 鶴崎駅前松岡線)			■
鶴崎歴史と みどりのネットワーク	回遊ネットワーク	市道南鶴崎6号線(空桑思索の道)、乙津川右岸緑地 など	■	■	
	街区公園	羽佐間児童公園、新堀公園、東浦公園、岩丸児童公園、伴出公園	■	■	

7. 都市づくり方針と取組のイメージ図〈詳細〉

